

京都大学フィールド科学教育研究センター・周南市連携講座が開催されました

H28年6月25日（土）

京都大学フィールド科学教育研究センター徳山試験地は、緑豊かな施設環境を活かし、平成23年度より「京都大学・周南市連携講座（森里海連環学）」を開催し、環境を総合的に考える人材を育成することで、周南市に大きく地域貢献されています。

今回の講座では、京都大学フィールド科学教育研究センターの吉岡崇仁教授による講義「森のものがたり」と、徳山試験地の見学が行われました。23名の参加者の皆さんは講義を熱心に聴講され、時には積極的に質問をされる場面もありました。また、雨のため短時間での見学となりましたが、檜皮採取後の檜などを観察することができました。



まず、講義が行われました。

環境に対する価値判断によって異なる環境意識のデータと自然科学的なデータとの関係性など興味深いテーマについて、分かりやすく解説していただきました。



次に、自然観察を行いました。（モリアオガエルの卵や檜皮実験林の様子など）



有意義な研修
となりました

